

Vienna Amadeus Trio

ウイーン・アマデウストリオ

いまヨーロッパで
最も注目を集めている
ピアノトリオ来日



2025年 2月 20日(木) 19:00開演

会場(京都) 青山音楽記念館 バロックザール 〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1

2025年 2月 22日(土) 14:00開演

会場(東京) サントリーホール ブルーローズ(小ホール) 〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1

出演 ウイーン・アマデウストリオ

ヴァイオリン:ウォルフガング・ダヴィド

チェロ:ウォルフガング・パンホーファー

ピアノ:ベルンハルト・パルツ

料金 S 8,000円 A 6,000円 (チケットは12月1日からE-Plus 他で)

後援: オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京

お問い合わせ

日本楽友協会

ngk@npo-ngk.com

03-6277-8559

ウィーン・アマデウストリオ

ソリストとして世界第一線のキャリアを積んできた3名の演奏家が満を持して2020年に結成したピアノトリオ。

エモーション・トラディション・コミュニケーションを軸に、それぞれが培ってきた最高峰の表現力と室内楽への情熱が連鎖し、緻密かつ大胆に磨き上げられた芳醇な響きは他に類を見ない。

ウィーンの血潮溢れるフレーズ感、深い演奏解釈による珠玉の響き、円熟のアンサンブルによる研ぎ澄まされたバランスは聴衆を魅了してやまない。ウィーン古典派の真髄を捉えた音楽作りは、ウィーン・コンチェルトハウスをはじめ各地で称賛を浴びており、いまヨーロッパで最も注目を集めているピアノトリオのひとつである。今シーズンは日本デビューの他、オーストリア、ルーマニア、スロベニア、クロアチア、ハンガリー、イタリア、スイス、中国での演奏が予定されている。



2025年2月20日(木) 19:00 開演
会場(京都) 青山音楽記念館 パロックスザール 京都
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町 9-1

2025年2月22日(土) 14:00 開演
会場(東京) サントリーホール ブルーローズ (小ホール)
〒107-8403 東京都港区赤坂 1-13-1

出演 ウィーン・アマデウストリオ
ヴァイオリン：ウォルフガング・ダヴィド
チェロ：ウォルフガング・パンホーファー
ピアノ：ベルンハルト・パルツ

料金 S 8,000円 A 6,000円
(チケットは12月1日からE-Plus 他で)

後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京

お問い合わせ 日本楽友協会 ngk@npo-ngk.com 03-6277-8559

Wolfgang David Violin

ウォルフガング・ダヴィド バイオリン

ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団(Royal Philharmonic Orchestra)、ウィーン放送交響楽団(Vienna Radio Symphony Orchestra)、ヨハネスブルグ交響楽団(Johannesburg Symphony Orchestra)、ニューヨーク室内管弦楽団(New York Virtuosi)と共演。「音楽制作の頂点を極めた」(ワシントン・ポスト紙)、「演奏はこれ以上望めないほど情感豊か」(The Strad誌)などマスメディアの評価も高い。

ウィーンのコンチェルトハウス(Konzerthaus)や楽友協会ホール(Musikverein Hall)、ニューヨークのカーネギーホール、ロスアンゼルス・セリトス・センター(Cerritos Center)、東京のサントリーホールや東京文化会館、ロンドンのウィグモア・ホール(Wigmore Hall)、ケルンのフィルハーモニー(Philharmonie)など主要ホールにて演奏。SONARE、NAXOS、Decibel Records、Albany、VDE-Galloの各レーベル向けに15枚以上のCDをレコーディング。使用するバイオリンは、オーストリア国立銀行から独占的に貸与されている伊クレモアのカルロ・ベルゴンツィによる1715年製。

Wolfgang Panhofer Violoncello

ウォルフガング・パンホーファー チェロ

欧州、アジア、中東、アフリカ、そして2000年のデビューを飾ったカーネギーホールがある米国の各国のコンサートで演奏。欧州8カ国で生中継されたフランツ・ウェルザー＝メスト(Franz Welser-Moest)指揮によるユーロビジョン、ポール・トルトゥリエ(Paul Tortelier)と共演したBBCコンサート、ポーランドTV向けポーランド国立カトヴィツェ・フィルハーモニー管弦楽団との共演、スロベニアTVの特別報道など、多数のテレビ・ラジオ放送に出演。

ユーディ・メニューイン(Lord Yehudi Menuhin)、フランツ・ウェルザー＝メスト(Franz Welser-Moest)、マルティン・ジークハルト(Martin Sieghart)、コルネリウス・マイスター(Cornelius Meister)、イエジー・マクシミウク(Jerzy Maksymiuk)、ハンス・ツェンダー(Hans Zender)など多くの指揮者によるコンサートで演奏。

ウィーン交響楽団(Vienna Symphony)、トーンキュンストラ管弦楽団(Niederösterreichische Tonkünstler Orchestra)、ハンガリー・ブダペスト交響楽団(Budapest Symphony)、ウィーン室内管弦楽団(Vienna Chamber Orchestra)、アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニー管弦楽団(Arthur Rubinstein Philharmonic)、リュブリャナ・オペラ楽団(Opera Orchestra Ljubljana)ほか、数多くの世界的に著名な楽団と共演。

Bernhard Parz Piano

ベルンハルト・パルツ ピアノ

演奏評は「エネルギーと色そして催眠術のような表現の融合」(ル・モンド紙)。ウィーン出身で、ウィーン国立音楽大学にてピアノを学ぶ。ブラームス国際コンクール1位などを受賞後、欧州、アジア、南北アメリカの各国においてソリストおよび室内楽団員として演奏。

2009年以降、ウィーン私立音楽芸術大学のピアノ科を率いる。同大学創設以来最も若いピアノ教授として在任。

ベーゼンドルファー公認アーティストであり、ウィーンの文化と音楽を世界に発信。音の完成度、一音一音まで語りかける独特のタッチは、聴衆および批評家より称賛されており、「繊細なタッチが楽譜に生命を吹き込む」(独Pizzicato誌)と評される。